

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回 吉川市立小中学校学区審議会
開 催 日 時	平成28年8月30日(火) 午前・ 午後 6時30分から 午前・ 午後 8時30分まで
開 催 場 所	美南地区公民館 洋会議室1
出席委員(者)氏名	濱田美弥、菅谷利勝、深井正己、市川俊行、小山悟、 田口弘、石井和也、福田稔之、山崎直美、加藤寛司
欠席委員(者)氏名	
担当課職員職氏名	染谷教育長、篠田教育部長、清水教育副部長兼学校教育課長、 浦井学校教育課副主幹、岡野学校教育課長補佐
会議次第と会議の公開又は非公開の別	(1) 委嘱書の交付 (公開) (2) 役員選出 (公開) (3) 諮問内容の説明 (公開) (4) 審議 (公開) (5) 事務局報告 (公開)
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	無し
会議資料の名称	次第、委員名簿、諮問文、美南中学校・(仮称)第四中学校生徒数推移、吉川市立小中学校学区審議会条例、吉川市立小学校及び中学校の就学に関する規則、吉川市立小学校及び中学校の就学に関する規則 別表第1 (第3条関係)、吉川市全図、吉川市立小中学校学区審議会会議傍聴要領、吉川市立南中学校沿革、(仮称)第四中学校におけるワークショップについて

会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	濱田委員、菅谷委員
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局職員(岡野)	教育長挨拶
一同自己紹介	委嘱書交付
事務局職員(岡野)	委員、事務局職員の自己紹介。
委員一同	自己紹介。
事務局職員(岡野)	会長・副会長・幹事の選出。条例第5条により委員の互選となっているが、事務局案を提示してよろしいか。
事務局職員(岡野)	了承。
事務局職員(岡野)	事務局案提示。
委員一同	会長：学識経験者、加藤委員。
加藤委員	副会長：学校代表者、田口委員。
田口委員	幹事職については選出を行わない。
事務局職員(岡野)	拍手をもって了承。
染谷教育長	(就任あいさつ)
事務局職員(岡野)	(就任あいさつ)
染谷教育長	染谷教育長より、吉川市立小中学校通学区域の諮問について。
事務局職員(岡野)	(諮問読み上げし、会長へ渡す)
染谷教育長	所用により教育長退席を報告。
事務局職員(岡野)	退席(よろしくご審議願います)
加藤会長	事前配付資料、当日配付資料について確認。
	会議成立の報告。
	会議録署名人の指名
	委員名簿1番、濱田美弥委員

<p>事務局職員(岡野)</p>	<p>委員名簿2番、菅谷利勝委員</p> <p>議事進行。事務局へ諮問内容の説明を求める。</p> <p>内容説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南中学校沿革について ・今後の児童生徒数の推移について ・中学校選択制の取り扱いについて ・(仮称)第四中学校の通学区域について
<p>加藤会長</p> <p>深井委員</p>	<p>委員の皆様、質問はいかがか。</p> <p>平成32年に南中が1,000人、平成38年に第四中学校が1,000人。平成32年に第四中学校が開校しても6年後には生徒数が1,000人になる。予定地に第四中学校を造った場合生徒数を受け入れるものが出来るのか。</p> <p>平成38年度に1,000人を超えているがピークはどこなのか。ピークも決まっていないのに通学区域だけを決めても玉ころがしである。プレハブ増築を繰り返してきた南中の子どもの数が分離後は減茶苦茶落ちてしまう。こういう落ち着き方をする分離後の南中学校を今後どうするのか。30教室もあるのがいきなり14,15教室になってしまう。</p> <p>美南小学校も開校4年だが、爆発的に増える予定だろう。</p> <p>4年先5年先が見えない南中の通学区域を決めたところで、5年後をどうするのか。</p> <p>5年後のことが分からないのに何を決めたいのか、子どもをどうしたいのか。子どもをどうやって振り分けたいのか。</p> <p>美南に集中している今後の子どもの数の説明もなく、第四中学校のことだけを審議するのは危険である。</p>
<p>加藤会長</p> <p>事務局職員(岡野)</p>	<p>ピークの時期及び分離後の南中学校をどのように考えるのかについて事務局の説明を求める。</p> <p>生徒数の推計では、平成40年度の生徒数を1,102名、学級数31を現時点ではピークとみている。新たな開発が始まった場合はこの限りではない。</p>

	<p>分離後の南中学校では生徒数の減少が見込まれる。吉川美南駅東口の開発が始まるが、計画人口は美南地区の約半数であることから、当該地域の児童が北谷小学校から南中学校へ進学するものとして考えている。この間、南中学校の通学区域の見直しも考えられるが、南中学校はプレハブ棟を除き、教室数をそのまま残しておく予定である。</p>
加藤会長	<p>ただいまの回答でいかがか。</p>
深井委員	<p>東口開発の話を出してどうするのか。5年先のことが分からないのに、10年、15年先の話をしてどうするのか。</p>
	<p>一昨年の話では美南小学校の児童数のピークは800人としていたが、去年の市長キャラバンでは1,400人となっている。中学校も3学年で1,000人となっている。校舎、プール、体育館を造って、校庭どうやって造るのか。図面があるのなら人数も出せるだろう。</p>
事務局職員(岡野)	<p>現在、お見せできる図面は出来上がっていないが、資料の生徒見込数を踏まえた設計を行っている。</p>
深井委員	<p>第四中学校の敷地で十分賅えるのか。 南中学校の半分が四中へ動くわけで、部活動をやるのに校庭が狭くて困るといったことはないのか。</p>
篠田教育部長	<p>第四中学校の敷地面積規模は東中学校とほぼ同じである。 現在学校のレイアウト等の準備を進めている。 生徒数のピークに合わせた規模の学校建設は難しいと思う。標準規模を踏まえ、建設年次から3年後ぐらい生徒数を見込んで学校を建設し、さらに生徒数の増加には、例えばプレハブでの対応などが考えられる。</p>
深井委員	<p>必要な時にはプレハブを建てて、不要になれば撤去するなど、それ（プレハブ建設）を含めて、対応が可能な敷地があるのであれば良いが、美南小学校は非常に足りない。小学校と中学校の連携をどう考えるのか。</p>

加藤会長	<p>ピーク時の生徒数に対応できる敷地であるという認識ということによろしいか。</p>
篠田教育部長	<p>ピーク時に合わせた学校の建設は難しい。予想以上の生徒数の増加に対してはプレハブ建設で対応することになる。</p>
	<p>美南小学校の児童数増加への対応についても、予想以上の増加があった場合には、プレハブ建設による対応を考えている。</p>
深井委員	<p>何故、美南小学校の話をしたかという、役所は美南小学校を造るのに許可なく小さくしてしまった。地権者に一言の話も無しに最初の設計図面と違う建物を造って敷地を小さくしてしまった。開校後4年足らずで教室が不足するのでプレハブを造りますでは、美南へ引越してくる人がいなくなる。</p> <p>小学校も中学校も入学しました。最初から「プレハブ教室です」では、引越してくる人はいなくなる。</p> <p>「将来的には減るので我慢してください」にしても、その我慢するのが何年なのか先が見えない。美南小学校は開校4年で、もう教室が足りない。</p>
加藤会長	<p>中学校に関しては、先ほどの回答でよいか。小学校については今回の答申とは直接には結びつかないが、こういった点も教育委員会として十分考えていただきたいという要望によろしいか。</p>
深井委員	<p>要望は改めて行う。中学校に関してはそれで済めばよい。</p>
加藤会長	<p>他の委員のご意見はいかがか。</p>
濱田委員	<p>想像の話ではあるが、最初にUR都市再生機構から用意された、図面の中学校の面積、小学校の面積は大和の開発を含まない数で造られたのではないか。そこへ大和の開発によるマンション、戸建分が増えたり、美南小では敷地の縮小もあったし、複合施設にしたことも影響しているのではないかと思う。</p> <p>複合化の施設は補助金を受けていることから教室として使用することは難しく八方ふさがりの状況である。</p> <p>大和の3棟分（4棟分）の数字が頭に入っていなかった。増えた分の人数を何か手立てを考えて、プレハブの用地であるとか中</p>

<p>加藤会長 事務局職員(岡野)</p> <p>濱田委員 事務局職員(岡野)</p>	<p>学校の用地をもう少し広げるとか何か出来れば。この中学校の規模で東中学校の大きさということだったので、建設予定地には3階建てまでしか建築出来ないと聞いている。小さめに造ってまたプレハブを建てると子ども達の体を動かす場所がなくなる</p> <p>今も南中学校へは自転車通学なので、大和の子については南中学校でもよいのかと思う。</p> <p>事務局の回答を求める。</p> <p>大和マンションを第四中学校の通学区域から外し、南中学校通学区域とすべきということによろしいか。</p> <p>分離後の南中学校を見るとよいのではないかと思う。</p> <p>大和のマンションは1棟目以外は未だ入居もなく、在学児童生徒も限られている。事務局としては、JR武蔵野線を学区境として、武蔵野線以南を第四中学校の通学区域として考えているので、本日は意見として伺う。</p>
<p>加藤会長 深井委員</p>	<p>他にご意見は</p> <p>線引きで済むのであれば、高久付近で線引きをして、歩いていける範囲はすべて南中学校にする。</p> <p>先を考えると、余りに南中学校と第四中学校の差が大き過ぎる。人数で割るしかない。</p>
<p>石井委員</p>	<p>中学校の建設用地は大分前にUR都市再生機構の方から出ていて、その中では大和さんの数字は想定外であった。もともと広い土地であればよいが、大和のグランセンス4棟は影響力が大きい。</p> <p>学区を決めてから設計をしたら想定に届かなかったでは、学区審議会に参加している我々の責任はどうなるのか。この地域に住む子ども達のために、間違った選択をしないよう、みんなが満足に通え、学校生活を送れる場所にしていただきたい。この想定外だったことが後々また響いてくるのが不安を駆りたてる。武蔵野線というラインは境界線としてくっきり出ているが、そこにこだわってしまうと、バランスというよりも押し込められた子ども</p>

<p>加藤会長 山崎委員</p>	<p>達の不自由さがより浮き出てくる。根本的に洗い出していないと結果よかったと思えるような学区審議会にならないのではないかと不安を抱えているところである。学校の具体的な姿が見えない状況でOKとは、なかなか言いづらい。</p> <p>南中学校PTAの山崎委員、いかがですか。</p> <p>濱田委員と石井委員のように、線路での線引きには不安がある。小学校・中学校をギュウギュウで育った子ども達が将来吉川に帰って来たいと思うような街になるのか。「小学校も中学校もプレハブで過ごしたよな」「体育の時間も狭かったよな」というような故郷ではとても吉川が悲しくなってしまうので、線引きしやすいという理由で武蔵野線で分けるというのは考えたくない。もう少し先のことを見ながら線引きしていただきたい。</p>
<p>加藤会長 田口副会長</p>	<p>他の委員はいかがですか。</p> <p>学区の線引きをいじるというのは、地域の皆さんの思いが錯綜するのでなかなかまとまりにくいという話を聞いたことがある。</p> <p>その辺でうまく私たちが考えるような線が引けるのかが心配。子ども達の通学という面だけで考えると、この武蔵野線で区切るということは、アンダーパスの辺りではよく苦情がでるので、武蔵野線以南に通学路が限定されるという点では、通学の安全という意味では確保されてくると思う。</p>
<p>濱田委員</p>	<p>自分の子どもも新しい中学校への入学を考えていたが、南中学校へ入学することになったが、結果よかったと思っている。</p> <p>南中学校が極端に減って部活動に影響が出るのも嫌だなと思う。また第四中学校ができて、うまく線引きが出来れば今の自転車通学も緩和できるのではないかなと思います。</p>
<p>加藤会長 市川委員</p>	<p>生徒数、通学、教育環境などを考慮して通学区域を決めることにはなるのですが・・・他にご意見は。</p> <p>南中学校分離後の第四中学校との生徒数の変化を見るといかななものかと思い、同じ美南小学校を卒業しながら、このマンションの子は南中学校だよというのも忍びない。駅前にマンション</p>

菅谷委員	<p>が出来るといことが想定外だったということだが、他の駅前空地の土地利用の情報が得られればよい。</p> <p>参考に聞きたいが、現在の東中学校、中央中学校の生徒数。美南小学校の現在の児童数、3～4年後の児童見込数について。</p> <p>南中学校の生徒数は分離時には半分以下になってしまう。急激な生徒数の変化に伴い教育環境が変化し、部活動、教員数なども極端に減ってしまうことがよいことなのかなと疑問に思う。</p>
加藤会長 事務局職員(岡野)	<p>事務局、ただいまの質問への回答を求めます。</p> <p>東中学校</p> <p>平成28年度 455名 14学級</p> <p>平成38年度 235名 8学級</p> <p>中央中</p> <p>平成28年度 755名 22学級</p> <p>平成38年度 574名 17学級</p> <p>平成28年度の生徒数は中学校選択制により、中央中学校から南中学校及び東中学校へ生徒が流れていることを承知していただきたい。</p> <p>美南小学校の現在の児童数</p> <p>平成28年度 778名 25学級</p> <p>平成29年度 947名 30学級</p> <p>平成29年度児童数には、グランセンス販売に伴う児童数増加を加味している。</p>
加藤会長 田口副会長 加藤会長	<p>東中学校、中央中学校いずれも生徒数は減少してくる。</p> <p>第四中だけが増えてあとは減るという状況。</p> <p>児童生徒数を予測して子ども達の教育環境を整える訳です。住基データのとおりになるかというのも難しいです。</p> <p>美南小学校の校長先生いかがでしょうか。</p>
小山委員	<p>安易に線路で区切りたくないという気持ちも分かるが、校長として考えると大きな範囲で分けてもらった方が学校運営としてはよろしいと思う。小学校と中学校では異なると思うが。</p>

	<p>児童・生徒数の予測については学校の校長が何をか言わんやですが、自分が不安に思うのは、駅前に未だ空地があるなど、ここで幾ら条件を揃えても大雑把な予測でしかないのかなと思います。</p> <p>そうであれば、学校職員としては運用が出来るのかどうかという視点で考える。施設面（3階建てとか4階建て）、部活の問題とかの運用が可能かどうかで学区が呑めるか、どうか。</p>
加藤会長	<p>生徒数を基にしたがらの通学の安全性、教育活動、それらを含めて一番ベストなプランを審議会で答申したい。</p>
深井委員	<p>中学校をそもそも別の場所に造るという考え方はないのか。</p>
篠田教育部長	<p>ここに中学校を建てるということで確保した土地であり、今の時点では建設予定地ということで進めている。</p>
深井委員	<p>20年先は分からないが、美南のこの狭い土地に無理やり中学校を造るよりも、北谷小の西側に空いている田んぼを何とかできないのか、南中学校をそのまま引越してもらえないか。</p> <p>そして、今の第四中学校の用地に小学校を造ってもらいたい。</p>
加藤会長	<p>用地取得については市としては決まっているのか。</p>
篠田教育部長	<p>用地の取得については既に決定事項であり、ここに計画年次を定めて進めて行く。深井委員から提案のあった土地利用については非常に難しい。</p>
加藤会長	<p>用地についてはそういう答えですが。</p>
深井委員	<p>役所の悪いところで、それを押し付けるというのが一番傲慢である。決めちゃったから・・・誰も決めてくれとは言っていない。</p> <p>大和のマンション建設には事前協議が絶対あるはず。市に内緒で造ることはない。</p> <p>何の話もなく1,300戸を造って、小学校・中学校入れてくださいという、そんな滅茶苦茶な話はない。</p>
篠田教育部長	<p>事前協議等については、次回までに調べて報告させていただく。</p>
深井委員	<p>調べても結果出ないでしょ。出来てるんだから。</p>

<p>篠田部長</p>	<p>既に住んで税金を納めている訳なのだから、市が責任を持って対応すべきである。</p> <p>できないんだったら市は何もしない方がよい。民間に任せた方がよい。開発した業者に頼む。</p> <p>プレハブ（美南小学校）を造る予算は来年度当初予算に出るのか。</p> <p>来年度はプレハブ教室ではなく、特別教室を改装して普通教室として使用することで対応する。</p>
<p>深井委員</p>	<p>その後は児童数の推移によって、プレハブ建設が必要になる。</p> <p>美南地区の1歳児はもう200人を超えている。今現在で200人を超えており、6～7年後にはさらにプラスアルファで増える。どうして6年先の計画が出来ないのか。今年の6月1日の住民台帳、全部持っている。美南に住んでる人が何人いるか全部知っている。</p> <p>義務教育で児童生徒数が増えれば教育委員会の責任で対応するのが当たり前である。</p>
<p>篠田教育部長</p>	<p>学校の建設は約1/3を国からの補助金で賄っている。建築年次から3年後を目途に完成させる訳で、最初から一番ピークの生徒数の学校は建てられないという現状がある。</p> <p>学校完成後に予測を超えた生徒については、プレハブ教室などで対応できるような方式で学校運営を進めている。</p>
<p>深井委員</p>	<p>そう言うが、美南小学校は1, 200人である。</p> <p>本気に考えているのか。3年後を。</p>
<p>篠田教育部長</p>	<p>美南小学校においては、再来年度に向けて、2階建てのプレハブ教室の建設を考えている。教室数については14教室で、増加する児童数へ対応する。</p>
<p>深井委員</p>	<p>どうしてそれを一切表に出さないのか。</p>
<p>篠田教育部長</p>	<p>現時点では、案の段階で、ある程度目安ができて予算を組める準備ができたなら、情報提供ができると思う。</p>
<p>深井委員</p>	<p>この小学校の児童数のピークは1, 400人と聞いているが、</p>

<p>篠田教育部長 深井委員 篠田教育部長 深井委員 篠田教育部長 深井委員</p>	<p>ピーク1, 400人で何年維持するのか分からないが、今の1歳児が200人を超えているということは6学年で1, 200人。</p> <p>この小学校は開校して4年。4年目で5年先が見えない。どうやって計画するのか。引越してくる人がいなくなる。</p> <p>大和さんの一戸建てもマンションも、この小学校に来るのを当たり前と思っている。</p> <p>どうしてそれが対応出来なかったのか。</p> <p>学校の規模ということか。</p> <p>当然です。出来ないで済ますのならそれでいいが。</p> <p>学校の規模については、生徒数の予測は行う。マンションの部分については予測を超えてしまった部分もある。それを踏まえて当初は、特別教室を普通教室に改装し、使用可能教室数を30と見込んでいるが、それを超える部分についてはプレハブ教室を建設して対応するという考え方です。</p> <p>安易にそういう考え方をしてるから、新しい中学校も同じ道をたどる。栄小学校も同様である。</p> <p>栄小学校についてもプレハブ教室で対応してきた。</p> <p>南中学校もプレハブ教室で対応してきた。2回も3回もプレハブ教室造って。この小学校もプレハブ教室だが、最終的には20教室位造らないと間に合わない。何処に造るのか。グラウンド全部潰すのか。</p> <p>校庭潰した小学校なんて聞いたことがない。半分になったってどうしようもない。</p> <p>子どもが増えれば、教室を造らなければならない、トイレも造らなければならない、給食の受け入れもしなければならない。そういう問題を新しい中学校を造っても、そういう二の舞を踏むんではないかという心配がある。そういった意見は住民から山ほど聞いている。言いたくはないが言わないと美南地区からの代表として来ている以上は、住民の意見を強く言っておかないと。</p> <p>市役所を造る予算があるんであれば、他に何か造るべきであ</p>
--	--

<p>加藤会長</p>	<p>る。市役所も1回プレハブ経験した方がよい。</p> <p>優先する順位を間違えている。そこをよろしくおねがいしたい。</p> <p>教育委員会からの諮問を受けて、委員の皆様から様々なご意見をいただいたが、人数の変化を見るにつけて、学区の線引きが武蔵野線を境とすることがよいのかどうかという意見も出ている。学区境を見直した案ができるのかどうか。</p> <p>事務局、いかがか。</p>
<p>事務局職員(岡野)</p>	<p>具現化が可能かどうかは別として、数字上の計算はやってみる。</p> <p>濱田委員提案のグランセンスを除外する案と深井委員が提案する、高久付近で東西線引きをして北(南中学校区)と南(第四中学校区)に分ける。といった形で数字を出して見るが、あくまでも分離の時点で南中学校と第四中学校の生徒数が均衡になるような線引きを試みる。</p>
<p>加藤会長</p>	<p>どのような線引きをして見ても一長一短があると思う。</p> <p>その中で子どもにとって一番、ベターなものを考えていくことがこの審議会の役目と考える。</p>
<p>福田委員</p>	<p>元々の学区案と今回提示された案ごとのメリット・デメリットを提示していただきたい。その上で検討ができればよい。</p> <p>私はこのままの案でよいと思っている。美南小の子ども達のことを考えると分けたくないと思っている。</p> <p>そういった事から、各案のメリット・デメリットを検討できればと考えている。</p>
<p>小山委員</p>	<p>自治会として、自治会の中で線引きされるのは問題があるのか。</p>
<p>深井委員</p>	<p>ある。</p>
<p>小山委員</p>	<p>自治会の中に学区の線は切れない？</p>
<p>深井委員</p>	<p>可能性がない訳ではないが、一つの自治会で二つの小学校、中学校があると両方を見なければならない。</p>

小山委員	一つの自治会としての運営が難しくなってしまうので、それは避けたいということ。
深井委員	美南地区を分けるということとはしたくない。 校庭も校舎も設備も間に合うようにでき上がれば言うことはない。
事務局職員(岡野)	深井委員のご意見も分かる。、福田委員の事務局案でよいというのもそれを踏まえてのことと認識している。
石井委員	敷地にしても建物や校庭にしても目に見える形の資料がないので、敷地の内容や建物の配置などが分かればよいのではないか。最初からプレハブ教室ありきで計画するというのはいかが。ある程度のキャパを想定した造りになるのであれば、この敷地の中でどのようにできるのかをぜひ見たい。
深井委員	美南小学校では開校3年前に説明会を行っている。 今の第四中学校でも、下図面はできているのではないか。
篠田教育部長	どの位置に校舎がとかは未だでき上がっていないが担当としては、これから開催予定のワークショップで意見をいただく考えである。
事務局職員(岡野)	美南小学校の学区審議会では、簡単な平面図と立面図が資料として添付されていた。 今回の学区審議会は美南小学校に比べ1年早く行っている。 先程、部長の発言にもあったように、加藤会長と濱田委員については未確定ですが、選出団体に確認の上、皆さんにワークショップへの参加をお願いしたいと考えている。
石井委員	それは、学区審議会が形だけの会議で終わっていることを前提にしているのか。
事務局職員(岡野)	そのようなことはなく、時期的には多少重なる。 次回9月末に予定している第2回学区審議会では、先ほど石井委員が仰った絵図面をできる範囲で用意したい。
石井委員	自分たちもそれぞれの代表として責任を持って出てきているので、なるべく計画の元で遂行できればよいと思うが、ある程度

事務局職員(岡野)	<p>形が見えている中で、あまり変化もなく行ければ一番よいと思う。これだったら子ども達がこれだけ入っても大丈夫だろうなというような判断ができれば、この学区でもよいのかなとも思う。</p> <p>次回の資料には、濱田委員、深井委員提案の試算と図面等の手配を行いたい。</p> <p>図面等については、事前配付が困難な場合には当日配付となることもあるのでご了承願いたい。</p>
加藤会長	<p>それでは、時間も限られているので、これまでの整理をする。</p> <p>次回は事務局案に本日提案のあったプランを追加して検討を行う。図面等については出せる範囲で出してもらおう。</p> <p>何か、質問は。</p>
菅谷委員	この会議は何回くらい予定しているのか。
事務局職員(岡野)	本日を含めて3回である。
深井委員	駅南の人口推移(分布)出せるかな。年代別の。
事務局職員(岡野)	用意させていただく。
加藤会長	議題5の事務局報告を求める。
事務局職員(岡野)	<ul style="list-style-type: none"> ・次回開催予定日時及び次回審議内容について報告。 ・ワークショップについて報告 ・会議録署名について説明
加藤会長	事務局報告について質問はいかがか。
市川委員	3回目の会議日程について確認したい。
事務局職員(岡野)	<p>平成28年10月25日(火)</p> <p>時間と場所は、本日より。</p>
加藤会長	それでは今後の進行は事務局にお返しします。
事務局職員(岡野)	<p>ありがとうございました。</p> <p>閉会にあたり、田口副会長よりご挨拶をお願いしたい。</p>
田口副会長	<p>挨拶</p> <p>散 会</p>

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成28年9月15日

署名委員 濱田 美弥

署名委員 菅谷 利勝